

ほけんだより

仙台市立坪沼小学校
仙台市坪沼幼児学園
第 7 号
平成 24 年 9 月 21 日



『かぜ』がはやっています！！

～週末は十分な休養とかぜ予防対策をお願いします～

先週から幼児学園園児が、かぜや発熱で欠席が増えていましたが、今週に入り小学校でも下学年を中心に欠席児童が増えていきます。また、出席している児童でも咳や鼻水、体のだるさなどの症状を持つ子どもが多い状況です。

朝夕の気温差が大きいことやこれまで気温が高い日が続いたことによる夏バテ、疲れなどから体調を崩しやすい時節です。週末は、ご家庭において「十分な休養」と「かぜ予防対策」をしっかりとるようお声がけ、ご協力よろしくお願いたします。

近隣医療機関で多い症状・感染症は・・・

●『マイコプラズマ肺炎』

- ・マイコプラズマという微生物の感染によっておこる肺炎です。
- ・症状：全身のだるさや頭痛が初期症状で、熱も少しずつ高くなります。2～3日後に乾いた強い咳が出始め、呼吸が苦しくなることもあります。熱は数日で下がりますが、咳は数週間から1カ月ほど続くことがあります。

●『ヘルパンギーナ』

- ・コクサッキーウイルスA群などのウイルス感染によって起こる夏かぜの一種です。
- ・症状：高熱、のどの痛みが特徴です。のどは赤く、のどちんこ（口蓋垂）の上のあたりに、直径2～5mmの小さな白い水ぼうがが見られます。のどの痛みは、熱が下がってからも続くことがあります。

●『溶連菌感染症』

- ・A群溶血性レンサ球菌（溶連菌）という細菌の感染によっておこります。
- ・症状：突然の発熱（38.0℃以上）、のどの痛み、リンパ節の痛みなどで、嘔吐（はきけ）を伴うこともあります。
- ・治療：溶連菌に有効な抗生物質を服用しますが、腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても医師が指示した期間（10日間～2週間）は抗生物質を服用することになります。

